

機械器具 50 開創又は開孔用器具
一般医療機器 挿管用喉頭鏡 70948009
エアトラック ガイドレス

再使用禁止

【警告】

1. 本品を使用する前に LED ライトが点灯することを確認する。

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止。
2. 電池を取り付けたまま焼却しないこと。[ガスが噴出して爆発する可能性があるため]
3. 液体に浸けないこと。[破損するおそれがあるため]
4. 歯に圧力をかけないこと。[歯を損傷するおそれがあるため]
5. 上気道へ無理に押し込まないこと。[上気道を損傷するおそれがあるため]
6. 可燃性の麻酔ガス下では使用しないこと。[発火するおそれがあるため]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状又は構造



2. 原材料（ラテックスフリー）

名 称	原材料
本体	ABS 樹脂
本体カバー	ABS 樹脂
スイッチ	ABS 樹脂
電池カバー	ABS 樹脂
アイカップ	ABS 樹脂
レンズ	ポリメチルメタクリレート
鏡	ガラス
LED	一般電気部品
単 4 アルカリ電池	一般電気部品

3. 原理

本品は LED を光源とする乾電池式の喉頭鏡である。

4. 経鼻用気管内チューブ適合サイズ

標準的な全てのサイズに適合

5. 患者最小開口

15mm

6. 使用時間

40 分

※使用終了 5 分前になると 20 秒ごとに 2 秒間点滅を始める。
総使用時間到達以降、バッテリーが無くなるまで LED ライトが連続点滅する。

【使用目的又は効果】

1. 使用目的

本品は、LED を光源とする乾電池式の喉頭鏡であり、経口及び経鼻による気管内チューブ挿管を容易にするために用いられる単回使用の挿管用喉頭鏡である。

【使用方法等】

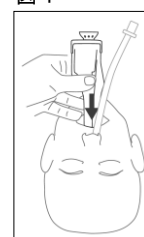
1. 使用前

- (1) 予備を用意する。
- (2) 適切なサイズの気管内チューブを選ぶ。
- (3) 電池カバー下にあるスイッチを入れる、使用前に点灯しない場合は本体を交換する。
(注) 曇り止めシステムが安定するまで、ライトが点滅する。(目安 30 秒) ただし使用環境（温度）により点滅時間は変動する。
- (4) 気管内チューブのカフを完全に脱気する。
- (5) カフを膨らませない状態で気管内チューブに潤滑剤（水溶性潤滑剤の使用が望ましい。スプレーは使用しない）を塗布する。
- (6) 本品の先端に潤滑剤を塗布する。

2. 本品の挿入（図 1）

- (1) 患者の口の正中線に沿って本品を挿入する。その際、中咽頭に舌を押し込まない様、細心の注意を払う。
- (2) 正中線を保ちながら、本品を中咽頭まで挿入する。
- (3) 本品を前傾状態からゆっくりと舌根部に沿って垂直位になるようにしながら、咽頭内を進め、喉頭内を確認する。
- (4) 本品を進め、喉頭蓋が画面に見えるように調整する。そして本品の先端を喉頭蓋谷にあてがう。もしくは、本品の先端を喉頭蓋の下に当てがい、喉頭蓋を持ち上げる。
- (5) 本品を持ち上げ、声帯を視野に捉える。

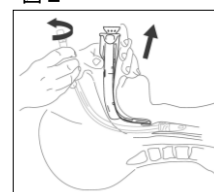
図 1



3. 経鼻用気管内チューブの挿入（図 2）

- (1) 声帯を画面中央に捉えるよう、必要に応じブレード先端を動かし位置を調整する。
- (2) 標準的な経鼻用気管内チューブ挿管手技に従い、経鼻用気管内チューブを鼻孔から挿入する。
必要に応じ気管内チューブを回転させる。そしてチューブ深度を確認する。
- (3) カフを膨らませ、気管内チューブの位置を確認する。

図 2

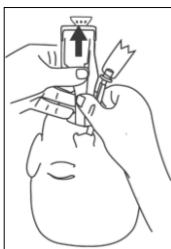


- (4) 状況により、エアウェイツール（マギル鉗子等）を用いて経鼻用気管内チューブ挿入をガイドすることが必要な場合がある。

図 3

4. 本品の抜去（図3）

- (1) 経鼻用気管内チューブを固定保持した状態で本品を抜去する。
- (2) 使用後、電池カバー下にあるスイッチを押しライトを消す。
- (3) 廃棄の際は、アイカップを本体から取り外した後、電池カバーを外し（両側の窪みに爪等をかける）、電池を抜き取る。



【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 本品は未滅菌品である。
2. 特殊な気管内チューブ（上部吸引付き等）は、規定のサイズ内であっても使用できない場合がある。
3. 落下、転倒などによる衝撃が加わった場合は直ちに使用を中止すること。（本品の外観に異常がない場合でも、内部が破損している可能性がある）

不具合・有害事象

1. 不具合

本品使用時、以下の様な不具合が生じる可能性がある。

- (1) 挿管時に使用した潤滑剤、血液、分泌物、嘔吐物等が本体のレンズに付着することにより視野画面が確認できないことがある。
- (2) 無理な操作及び患者が噛んだ場合により本体が破損する可能性がある。

2. 有害事象

歯の損傷（患者により）、口唇損傷、舌損傷、口腔粘膜損傷、咽頭損傷、喉頭損傷、咽頭痛、嘔声、喉頭浮腫、気管破裂、食道破裂、気道損傷、気管内の異物の落下、頸椎損傷、血圧上昇、低酸素血症、高二酸化炭素血症、嘔吐、誤嚥、喉頭痙攣、気管痙攣、気管支痙攣、不整脈、心筋虚血、頻脈、虚血、頭蓋内圧亢進

【保管方法及び有効期間等】

保管の条件

1. 周囲温度：0～40℃
2. 相対湿度：95%未満
3. 大気圧：500～1060hPa
4. 水のかからない場所に保管すること。

有効期間

本品箱に貼付のラベルに記載

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

泉工医科工業株式会社

製造業者

プロドール メディテック リミテッド

（PRODOL MEDITEC LIMITED）

国名：中華人民共和国

お問合せ先

センシンメディカル株式会社

TEL 03-5802-0560

取扱説明書を必ずご参照下さい。

文書管理番号：AA-3163-01